



『ルベルカーリアのあと』

脚本: アストン=路端
画像: コミポ!





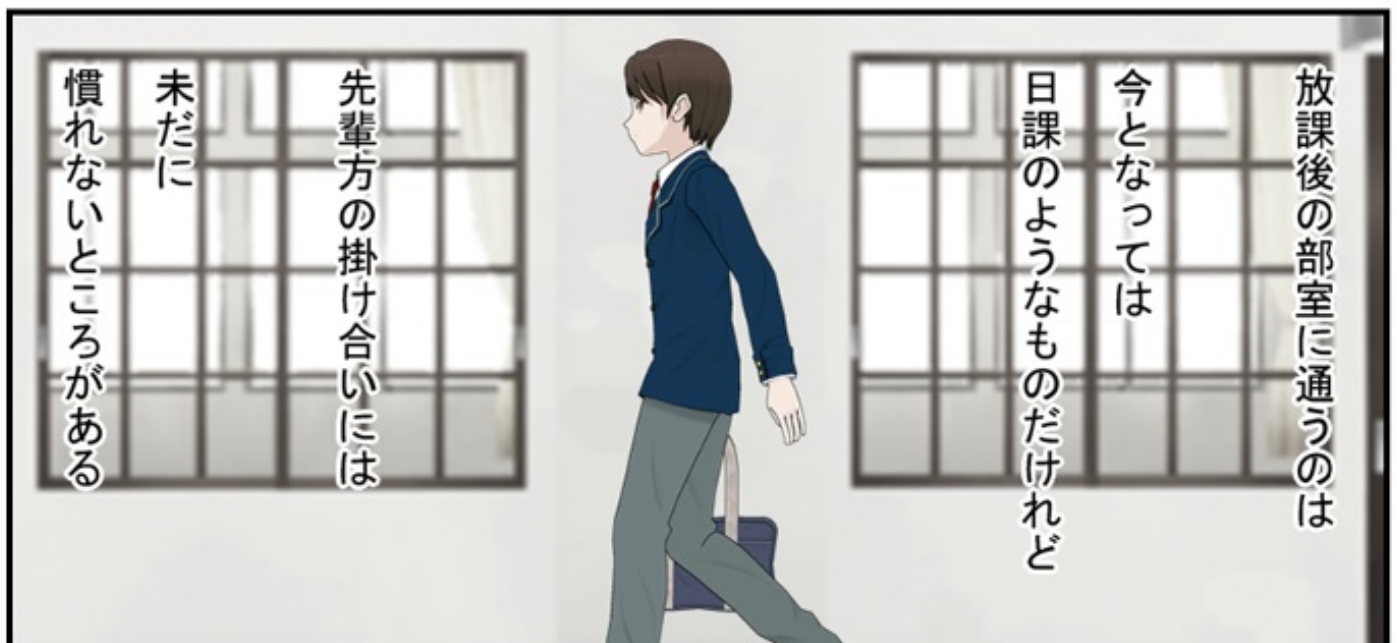
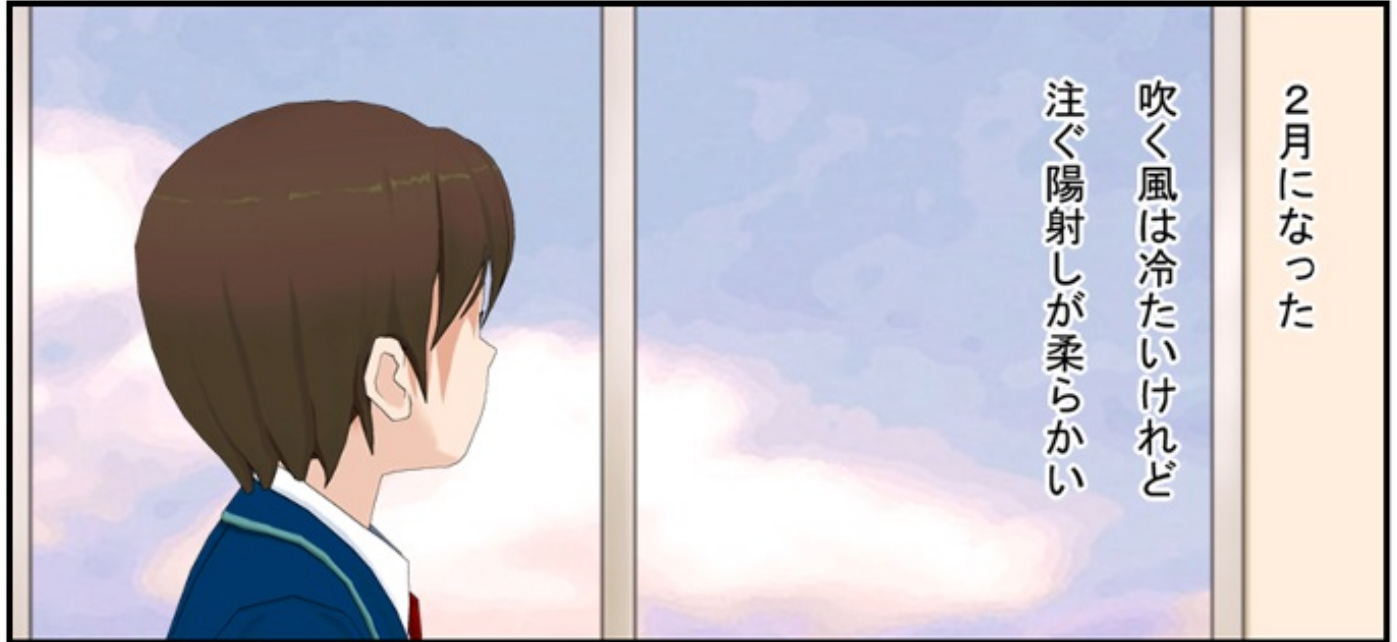


『ルペルカーリアのあと』

脚本：アストン=路端
画像：コミポ!

2月になった

吹く風は冷たいけれど
注ぐ陽射しが柔らかい



放課後の部室に通うのは

今となっては

日課のようなものだけれど

先輩方の掛け合いには

未だに

慣れないところがある



古代ローマにおける
2月14日は

家庭と結婚の女神
ユノの祝日

しかしキリスト教を広めたい
初期ローマ教会は

異教の神々の祭りを
廃止しなかった

とは言え
ただ禁止しても反発を招く為

若さローマ教会の悩み
むしろ
キリスト教由来の行事として

異教徒の改宗を目論んだとも
考えられている

祭りの名は
ルペルカーリア

祭りが風紀を乱すと憂慮した
ゲラシウス二世により廃止され

代わりに
バレンタインデーが創設された

ローマ神話由来の行事では
なくなつたものの
異教徒への配慮から
「男女を結びつける」という
特色を色濃く残したことで

現在では世界各地で
「男女の愛の誓いの日」とされる

日本ではウーマンリブ運動と
企業の販売戦略から

女性から男性に
チョコレイトを贈る日として
一九七〇年代に定着したが

ヨーロッパなどでは
男性も女性も花やケーキ
カードなどの贈り物を
恋人や親しい人に
贈ることがある日である

なお
ヴァレンタインの名で知られる
聖人ウァレンティヌスは
一九六九年の典礼改革以降

実在が明らかでないとして
カトリック聖人暦に

その殉教の日は載っていない

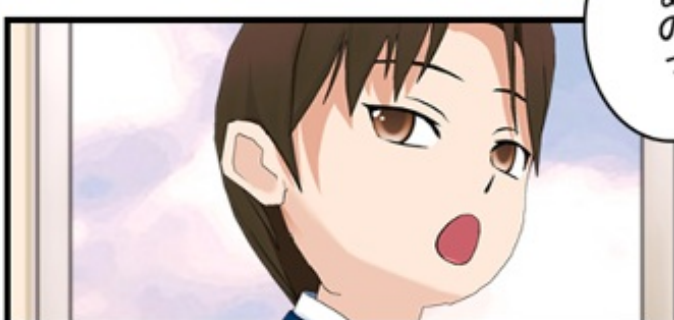




なかせたー







現在のバレンタインデーの翌日

即ち
2月15日は

豊年を祈願し
清めの祭りでもある
ルペルカーリアの
始まりの日であった



チョコレートだって
いいんだよ

バレンタインだもの
さんぞう



いつの間にか
日が随分と長くなった

あの日の入部から
間もなく4ヶ月が過ぎる

一方的なイベントに
誤解と行き違いはあったけれど

同じ問題に向き合って
少しは打ち解けられただろうか

次のテーマは何だろう

期待と不安を抱えながら

僕らの気持ちは

次の季節へと向かって行く

ところで先輩
何もらったんですか

チヨコ

結局チヨコかよ！

でした♪

カル
けん!!

『ルペルカーリアのあと』完

カルけん！！ (5)

<http://p.booklog.jp/book/82115>

著者：アストン＝路端

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/robounoishi2009/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/82115>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/82115>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ